

# 平成28年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月2日

株式会社 ロック・フィールド 上場会社名

上場取引所 東

2910 URL http://www.rockfield.co.jp コード番号

(役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 代表者

(氏名) 岩田 弘三

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長兼経理部部長 (氏名) 伊澤 修 TEL 078-435-2800

四半期報告書提出予定日 平成27年9月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年4月期第1四半期の連結業績(平成27年5月1日~平成27年7月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主に 四半期純	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第1四半期	12, 073	2. 6	378	25. 7	384	19. 9	219	19. 3
27年4月期第1四半期	11, 771	△2.7	300	△21.8	321	△16.6	184	△11.4

(注)包括利益 28年4月期第1四半期

232百万円 (15.9%)

27年4月期第1四半期

200百万円 (3.1%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第1四半期	16. 55	_
27年4月期第1四半期	13. 88	_

### (2) 連結財政状態

( = / / / / / / / / / / / / / / / / / /				
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年4月期第1四半期	28, 950	23, 873	82. 5	1, 797. 64
27年4月期	29, 339	23, 998	81.8	1, 807. 11

(参考) 自己資本 28年4月期第1四半期 23,873百万円 27年4月期 23,998百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計				
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭
27年4月期	_	18. 00	_	27. 00	45. 00
28年4月期	_				
28年4月期(予想)		18.00	_	27. 00	45. 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成28年4月期の連結業績予想(平成27年5月1日~平成28年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株式 する当期		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24, 071	1. 7	615	2. 0	639	2. 3	379	27. 5	28. 59
通期	50, 201	2. 7	2, 150	8. 8	2, 180	8. 6	1, 318	11. 2	99. 29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無 新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 有② ①以外の会計方針の変更: 無③ 会計上の見積りの変更: 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の 見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

: 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

④ 修正再表示

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年4月期1Q	13, 394, 374株	27年4月期	13, 394, 374株
28年4月期1Q	114,081株	27年4月期	114,081株
28年4月期1Q	13, 280, 293株	27年4月期1Q	13, 280, 517株

### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断 する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は 様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年5月1日~平成27年7月31日)におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策や企業収益の改善などにより景気は緩やかな回復基調が続いているものの、円安を背景にした輸入原材料の価格上昇や食品の相次ぐ値上げなど物価上昇に賃金の伸びが追いつかず、個人消費が低迷するなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「The Mirai Salad Company」を目指し、販売員一人一人が商品価値を伝える接客をすること、閉店間際まで商品を充実させ時間帯に合わせた売り方を実践すること、店舗の規模や立地に合わせた品揃え、積極的な店舗リニューアルなどを通して、お客様にご満足いただける売場づくりに継続して取り組んでまいりました。また、食と健康をテーマに、より一層健康を意識した商品の導入を行い、お客様からのご支持をいただき売上高確保に繋げることができました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高12,073百万円(前年同期比2.6%増)、 営業利益378百万円(前年同期比25.7%増)、経常利益384百万円(前年同期比19.9%増)、親会社株主に帰属する 四半期純利益219百万円(前年同期比19.3%増)となりました。

ブラン	ド別の売	上は次の	とおり	であり	ます。

ブランド		平成27年 4	.月期	平成28年4月期		対前期比
		第1四半期	(連結)	第1四半期(連結)		
		売上	構成比	売上	構成比	
		百万円	%	百万円	%	%
	サラダ	4, 938	42.0	4, 837	40. 1	98.0
R F 1	フライ	1, 993	16. 9	2,004	16.6	100. 5
	その他そうざい	1, 466	12.5	1,512	12.5	103. 2
	小計	8, 398	71. 4	8, 354	69. 2	99. 5
グリーン・グルメ		1,013	8.6	1, 329	11.0	131. 1
いとはん		869	7. 4	968	8.0	111. 4
神戸コロッケ		752	6.4	662	5.5	88. 0
ベジテリア		438	3. 7	400	3.3	91. 3
融合		235	2.0	255	2.1	108. 5
その他		62	0.5	101	0.9	162. 2
合	計 計	11, 771	100.0	12,073	100.0	102.6

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「RF1」ブランドにおきましては、食と健康をテーマに「Vegetable First まず、サラダから食べよう。」というメッセージを打ち出し、健康に寄与する食生活・食習慣として食事の最初に野菜を食べることやサラダを中心とした食事の提案を行ってまいりました。また、栄養価の高い素材を使用した新商品として「黒の習慣 ひじきと島豆腐のサラダ」や「緑の習慣 7種野菜とモッツァレラのサラダ」の展開を行いました。その結果、売上高は8,354百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

「グリーン・グルメ」ブランドにおきましては、RF1・いとはん・融合などのブランドの商品を組み合わせたセレクトショップとして、夏野菜をテーマとした各ブランドの期間限定季節商品の品揃えなどにより、お客様のニーズに合わせた幅広い商品展開を行いました。その結果、売上高は1,329百万円(前年同期比31.1%増)となりました。

「いとはん」ブランドにおきましては、季節の移り変わりを感じていただける和そうざいをテーマに、蒸し暑さの続く梅雨の時期に合わせて「梅だれで爽やか 炙りたこの和さらだ」や「オクラと長芋の梅昆布和え」の展開を行いました。その結果、売上高は968百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、原点回帰によるコロッケ強化の継続をテーマに、旬の素材を使用した「かぼちゃとチーズのコロッケ」などの展開を行いました。その結果、売上高は662百万円(前年同期比12.0%減)となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、野菜のチカラで継続的な健康サポートをテーマに、旬の野菜にフルーツを合わせた「高知のみょうが&レモン」などの展開を行いました。その結果、売上高は400百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

「融合」ブランドにおきましては、アジア料理をより身近に感じていただくことをテーマに、「イカとクレソンのサラダ」などの展開を行うとともに、素材や調味料をご紹介するリーフレットを配布し認知度のアップを図りました。その結果、売上高は255百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注)上記金額には消費税等は含まれておりません。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて389百万円減少し、28,950百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少379百万円、売掛金の増加117百万円、原材料及び貯蔵品の減少100百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて263百万円減少し、5,077百万円となりました。これは主に、法人税の支払による未払法人税等の減少403百万円、賞与引当金の減少181百万円等によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて125百万円減少し、23,873百万円となりました。これは主に、四半期純利益219百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少358百万円等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は82.5%、1株当たり純資産額は1,797円64銭となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月9日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

ただし、事業環境の変化等による今後の業績予想に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:日刀円)
	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10, 479	10, 100
売掛金	3, 911	4, 028
製品	64	72
仕掛品	93	77
原材料及び貯蔵品	439	338
その他	452	415
貸倒引当金		△1
流動資産合計	15, 440	15, 033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7, 044	6, 945
土地	2, 948	2, 948
その他(純額)	1,738	1, 781
有形固定資産合計	11,731	11,674
無形固定資産		
その他	500	457
無形固定資産合計	500	457
投資その他の資産		
その他	1,677	1, 794
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,667	1, 784
固定資産合計	13, 899	13, 917
資産合計	29, 339	28, 950
負債の部		
流動負債		
買掛金	1, 199	1, 257
1年内返済予定の長期借入金	10	10
未払法人税等	470	66
賞与引当金	493	311
その他	2, 706	2, 939
流動負債合計	4, 881	4, 586
固定負債		-
長期借入金	87	85
その他	372	404
固定負債合計	459	490
負債合計	5, 340	5, 077
		,

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5, 544	5, 544
資本剰余金	5, 861	5, 861
利益剰余金	12,619	12, 480
自己株式	△210	△210
株主資本合計	23, 814	23, 675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	120
為替換算調整勘定	75	77
その他の包括利益累計額合計	184	197
純資産合計	23, 998	23, 873
負債純資産合計	29, 339	28, 950

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日)
売上高	11,771	12, 073
売上原価	4, 958	5, 058
売上総利益	6, 813	7, 014
販売費及び一般管理費	6, 512	6, 636
営業利益	300	378
営業外収益		
受取配当金	4	4
その他	17	4
営業外収益合計	21	8
営業外費用		
その他	0	1
営業外費用合計	0	1
経常利益	321	384
特別損失		
役員退職功労金		20
特別損失合計		20
税金等調整前四半期純利益	321	364
法人税等	136	145
四半期純利益	184	219
非支配株主に帰属する四半期純利益		
親会社株主に帰属する四半期純利益	184	219

# (四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日)
四半期純利益	184	219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	10
為替換算調整勘定	$\triangle 1$	2
その他の包括利益合計	16	12
四半期包括利益	200	232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200	232
非支配株主に係る四半期包括利益	_	_

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。